

令和4年度第3回ゲーム部会

令和4年6月7日(火)
三鷹市立第六小学校

参加者：吉田 隈部 川西 蔵部 西山 安藤 高田 勝沼 捧 長坂 筒井 小川 井村 吉原 植村 宮下
小林 小林 山崎 栗原 川田 澤 齋藤 楠原 田子 中倉 石井 瀬端

1. いろはのい (西山先生)

①各校の水泳指導

検定、夏プールについてばらつき

検定は、指導要領に載っていない。感染症対策で試行錯誤していることがわかった。

②遊びから派生するゲーム

遊びとは：アゴン（競技）、アレア（運）、ミミクリ（模倣）、イリンクス（眩暈）4つの要素がある。

自由、隔離、未確定、非生産的、規則、虚構の活動であることが遊びに求められている。

→ゲーム領域に当てはめると・・・

ゲーム開発の4つの視点＝自由、未確定、規則に当てはまる。運動の場＝隔離された活動と言える。

2. 研究を進めるにあたって

(1) ペットボール

今年度のゲームはペットボールに決定した。

ゲーム開発の視点から選んだ。今後改良するために、チームに分かれて研究を進めていく。

(2) チーム

今年度は、研究を進めるにあたって、チームで担当をして研究を進めていく。

①ゲームチーム

②課題並列的な学習過程チーム

③ボールを持たないときの動きチーム

各チームに分かれてそれぞれ進め方の確認をした。

文責：瀬端（中央区立佃島小学校）